



伊佐市誌 じまんば

1 協力したくする伊佐市

ごくフツーのものがお宝に見えてくる。
助つ人たちの伊佐自慢あれこれ。

頭と体をフル回転させて

都会から田舎移住を目指す人が、数ある選択肢の中から地域おこし協力隊という職業を選び、地域が抱える課題解決に向けて奔走している。2009年に制度化され、それにスキルや感性、想いや嗜好が違えど「地域を盛り上げたい」という同じ目標に向かつて試行錯誤の毎日を過ごしている。伊佐市にも熱い心を持った隊員たちが頭と体をフル回転させて地域のために汗を流している。彼らの目に伊佐はどう映っているのだろうか？そしてどんな魅力に気づき、引き出し、引き上げようとしているのだろうか？

6名の若き隊員たちが語ってくれた。

人の良さと、のどかな田園風景

もともと田舎の暮らしに興味があり、縁あつて伊佐にやつて来た清永啓太さん。伊佐の植物を使った草木染に取り組んでいる。「僕が伊佐に来ていいいなあと思ったのは、まず会う方みんなやさしいんです。人の良さが大きな魅力です。それに自然豊かで、食べ物はおいしく、水が最高に綺麗です」。イチ推しは浜田梨園。

テントサウナ愛好家の田崎花恵さんは、イベントがきっかけで布計小学校跡を訪れた際に、伊佐の自然に魅了されて移住を決意した。シカやイノシシを使ったジビエ料理を伊佐の名物にしようと取り組んでいる。「伊佐では獲れたシカやイノシシがちゃんとした施設で精肉されているので安心して食べられます。鹿肉の燻製を作っていますが、ス



伊佐米水田

鹿肉燻製
草木染ハンカチ

黒豆茶



田の神さあ カプセルトイ



伊佐の星空

「伊佐の夜空はすごくキレイです。」「朝露がついたクモの巣が、朝日に照らされてキラキラ輝く朝の風景も感動します。」「南永小学校近くの彼岸花ロードや針持小学校近くのソバ畑も素晴らしいです。」「物産館のお野菜もおいしくてマコモダケがおすすめです。」どんどん出てくる伊佐の魅力。たくさんの地域おこし協力隊が活躍している伊佐市。その魅力を探しにいってみませんか。

まだまだあります、伊佐自慢

以前は東京都江戸川区に住んでいて、父の故郷が鹿児島県という田畠敦大さんは、伊佐への移住定住に関する情報の発信や、空き家バンクの記事を取材・執筆している。「都会に比べて物流がゆっくりなのが良いですね。こちらで個人商店さんに入ると、昭和の頃の品や既に廃盤になつた品物と出会えることもあります。また、かつての西太良駅や郡山八幡駅付近の鉄道線路跡が、道筋そのまま自動車道になっており、情緒があつて気に入っています。食べ物もおいしいですし」。田畠さんは、マニアックな観点から伊佐に触れ、情報をキヤッチしている。

西上寛樹さん
(曳童演劇)

伊佐の星空



浜田梨園



蕎麦畑 (針持地区)

詳しい地図へ
QRコード

語り手

伊佐市地域おこし
協力隊員

田崎花恵さん
(ジビエ料理)

佐野るりさん
(焼き物)

石田萌さん
(空き家バンク)

石田萌さん
(パッケージデザイン)

